

組織の主体性を高める！シェアードリーダーシップ実践者研修

■ねらい

1人のリーダーが組織を引っ張るピラミッド型のリーダーシップだけでは、メンバーがリーダーに依存してしまい主体性を高めていくことはできません。本研修では「シェアードリーダーシップ」の概念と手法を学び、チームメンバーの主体性を高めていける実践者となることを目指します。

※「シェアードリーダーシップ」とは

従来のピラミッド型（トップダウン型）と異なり、チームメンバーそれぞれがリーダーシップを発揮し、リーダーの役割を共有している組織の状態を示します。

■テーマ概要

対象：店長や各部門（営業・サービス・フロア）でリーダーシップを発揮する立場にある方
or 今後その役割を期待されている次世代リーダー候補の方

時間：1日（7時間）

人数：～20名

■カリキュラム一例

内 容

1. はじめに

本研修の目的確認

2. 「シェアードリーダーシップ」とは？

- （1）リーダーシップとフォロワーシップの強化に必要な要素とは？
- （2）ピラミッド型（トップダウン型）シェアード型（相互支援型）のリーダーシップの違い
- （3）シェアードリーダーシップで組織の主体性を高めた事例の紹介

3. 「相互理解」の促進

- （1）チームメンバー同士の相互理解を促進する手法と効果
- （2）信頼関係を構築する上で有効なコミュニケーションスキル
【ワーク1】相互理解ワーク（自己開示し合ったチーム状態を体験する）

4. 「成長支援」の促進

- （1）メンバーが自然と成長するチームの特徴とは？
- （2）チームの成長に繋がるフィードバックスキルの要素
【ワーク2】フィードバック実践ワーク（個人と組織の課題を見つけ改善する）

5. 「目的共有」の促進

- （1）チームとして共通の目的を共有し合う重要性
- （2）目指したいチーム像とビジョンのを見つけ方
【ワーク3】ゴールセッティングワーク（チームが目指していく方向性を設定し共有する）

6. まとめ

- （1）本日の学びの整理
- （2）アクションプランの作成（自身のチームでのシェアードリーダーシップの実践計画）